

第163回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時:2002年11月19日(火) 13時~16時55分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題:ホストゲノム時代のHPLC(1)  
- タンパク質・ペプチドの分離精製からプロテオーム  
解析まで -

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:10)

(東ソー(株)ラ) 冨澤 洋

2. 多次元LC-MSによるプロテオーム解析 (13:10~13:40)

(東京都立大院理学研究科) 田岡 万悟

3. プロテオームにおけるLC-MSとその諸問題 (13:40~14:10)

(理化学研究所 生体分子解析室) 堂前 直

4. ポリマーモノリスカラムによる蛋白質、酵素、抗体の分離精製 (14:25~14:45)

(三和通商(株)) 金子和子・春日喜雄

5. キャピラリーモノリスカラムによるペプチド・タンパクの分離 (14:45~15:05)

(京都モノテック(株)、ジーエルサイエンス(株)、京大工) 石塚紀生・水口博義・高橋  
浩司・中西和樹

6. タンパク質構造・機能解析のためのハイスループット精製 (15:05~15:25)

(アマシャムバイオサイエンス(株)) 番澤 貴子

7. 逆相HPLCとMALDI/MSをつなぐ新技術の紹介 (15:25~15:45)

(日本ウォーターズ(株)) 金井 みち子

8. LC/MS/MSによるプロテオーム解析の進歩 (15:45~16:05)

(アプライドバイオシステムズジャパン(株)) 津幡 卓一

9. タンパク質分離精製用にデザインされた新規カラム、充填剤の特性と応用  
(16:05~16:25)

(東ソー(株)) 橋本 佳巳

10. 総括:プロテオミクス研究におけるHPLCの役割 (16:25~16:55)

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、その他:3,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式で開催します(1号館17階大会議室)。会費:1,000円。

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号  
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]